

表5 検証授業Ⅲに関する評価計画

評価目標	評価の場面	評価法	評価用具の内容 または評価基準	評価の意図	
下位目標 1 鉄の生産には、 水が使われていることに注意が 向いているか	第7時 製鉄業にお ける工業用 水の必要 性	鉄の生産工程で水 が使われているV TRを見たあとの 場面	自己評価法 (多肢選択 式の質問紙) ・記入後、 挙手させて 確かめる	VTRをみて、きょうみ を持ったことは、何ですか。 ア きっかけのこと イ コンピューターのこと ウ 水のこと エ その他( )	水に注意が向いてい ない児童を発見し、ク ラス全体の注意を工業 用水へと向けさせるた め
下位目標 2 鉄を作るのに、 どれだけ水を使 うか知りたいと 思っているか		5kgのバーベルに 相当する鉄を作る のに、どの程度の 水が必要かを予想 する場面	観 察 法	何らかの予想をたてたか 否かを、挙手によりチェック ⊕ 予想をたて挙手する ⊖ 予想をたてない	工業用水へ向けられ た注意が学習意欲にま で高められたかを、み きわめるため
下位目標 3 製鉄所における 水の必要量を身 近なものと比較 するために、進 んで作業にとり くんでいるか		グループで、製鉄 所における水の必 要量を自校のプー ルの水量と比較す る場面	観 察 法	机間巡視により観察 ⊕ 作業の目的が分かって活 動に参加している ⊖ 形式的に参加してい るにすぎない	個別にこの作業の意 味を指導し、関心を引 きあげるため
下位目標 4 製鉄業における 水の必要量を感 動を持ってとら えているか		本時の学習のまと めの場面	自己評価法 (作文)	きょうの学習のまとめを ノートに書きましょう。  D 学習対象に対して無関 心である C 学習対象に注意が向い ている B 学習対象を感動を持っ てとらえている A 学習対象への興味が学 習の発展のための動機づ けとなっている	次時の導入の在り方 を決定するため
小単元レベルの目標 製鉄業における 資源の確保とそ の有効な利用を 持って追求しよ うとしているか	第8時 工業用水の確保	個別に、水島工業 地区における工業 用水の確保につい て調べる場合	観 察 法	C 学習行動が見られない B 指示されたとおり調べ ている A 自ら工夫を加え、多様 な方法によって調べてい る。	小単元の「関心・態 度」の目標の達成状況 を評価するため、観察 法と自己評価法による 2種類の資料を得る